

宜野湾市長選挙の応援に参加して

常務理事 西尾 栄一

志村さん大健闘 「オール沖縄」悔しい敗戦

1月14日から21日までの8日間、沖縄県の米軍基地等の視察と宜野湾市長選挙の応援に行ってきました。市長選挙の結果は、皆さんも存じのとおり残念な結果となりました。翁長知事を先頭とした「オール沖縄」陣営が擁立した志村恵一郎さんは地元マスコミの調査でも互角のところまで迫っていました。安倍政権の総力を挙げた現職支援に打ち勝つことができませんでした。6千票近い票差にも驚いてしまいました。悔しい限りです。志村さんの演説を2度ほど聞かせていただきましたが、純朴で、正直な人柄との印象を受けました。政策も基地問題は勿論のこと、子どもの貧困問題に正面から取り組むと表明されていました。市長に押し上げることができなかったことが本当に残念です。



普天間基地の面積は宜野湾市の25% オスプレイ飛行

宜野湾市は普天間基地が存在する自治体です。基地は町の中心を占めており、その面積は宜野湾市の25%もあります。基地を横切れば短時間で目的地に到着できるにもかかわらず大きく遠回りして目的地へ行かなければなりません。そのため、幹線道路はいつも渋滞していました。選挙中ですから戦闘機はほとんど飛んではいみせませんが、18日から19日あたりからオスプレイが飛行しているのを何度も見ました。

対話できれば支持が広がる選挙だけに無念

選挙応援では、宣伝ビラを配布したり、商店の方々や通行人の方々や数多く対話したりしました。沖縄の皆さんは、人なつっこく、話をよく聴いてくれます。手を振って応援してくれたり、声をかけて激励してくれたりもします。本土から応援に行った者は、地元でそのような反応をあまり経験しないため、それで「好反応」と誤解してしまうくらいです。

総勢では150名を超える方々と対話ができたでしょうか。商工新聞の見本紙を配っているときに出会った建設業の男性は、「まだ決めていない」と言いながら「ヤンバルは宝」と答えてくれました。前日に高江のテント村に行っただけで心を通じる気持ちになりました。商店では「佐喜眞さんは市長になって顔が変わった。安倍政権に支持されているからか自分中心になった。人の意見をきかなくなつた」という声や「翁長さんはよくやっている。でも私たちは何度も裏切られている。信用して本当に大丈夫だろうか。」という声を聴かせていただきました。対話のなかで志村支持を約束していただきました。「日本中の皆さんに沖縄の現実を知ってほしい」との声もたくさん聴きました。

た。大阪でも以前は沖縄経済が基地で成り立っているとの意見もあったが、最近では基地が邪魔していると変化していることや沖縄問題だけで集会やデモも開かれていることを紹介すると笑顔で喜んでくれました。高齢者十数名がリハビリされている施設を訪問した際は、職員の方が手を振りながら大きな声で「志村がんばれ」と激励してくれました。また、お客さん5名ほどと食事をしながら歓談されているお店では、座って話していきなさいということになりコーヒをいただきました。話題は基地問題でした。選挙の期間は静かだけど、いつもはやかましい」「本土の人に知ってほしい」と切実でした。「本土に持って帰ってほしい」との冗談もできました。たくさんの方々との対話できて楽しい選挙でした。それだけに無念です。

最大の争点が争点にならない選挙

最大の争点は普天間基地問題でした。どちらも普天間基地の早期返還では同じですが、辺野古に移設するかどうかという点で対応が分かれていました。現職はそのことを曖昧にして争点化を避ける作戦をとりました。それどころか、「個人的には辺野古移設反対」「フェンスを外す」と言っている有権者を惑わしたのです。しかし、この作戦は、辺野古移設反対(56%)と答えた人の2割以上が現職に投票(毎日新聞の出口調査)したことに見られるように現職有利に働いたことは事実です。安倍政権は「辺野古移設が受け入れられた」との理解をしています。投票行動を見る限り、辺野古容認とは言えません。その民意を示すための今後の運動が求められています。

全基地返還の願いを前面にした運動に転換を

1月27日付の神戸新聞に前泊博盛沖縄国際大学教授が選挙結果を評論していました。「政府のアメとムチが勝因」と現職勝利を分析し、翁長知事には「全基地返還の道筋を示せ」と迫っています。「今選挙の敗北は辺野古移設から『全基地返還』への大きな政策転換の分水嶺ともなり得る」としています。普天間、辺野古は重要ですが、今回のように争点をはぐらかされることを沖縄県民は何度も経験してきました。県民の願いは全基地返還だと明確に打ち出すことが分かりやすい構図をつくると思っています。私もこの記事を読んで、いずれ、翁長知事が全基地返還を打ち出すことを期待する気持ちになりました。(米軍基地等の視察報告は後日行ないます。)

伝言板

府営住宅の申込

締切は15日(郵送消印有効)です。申込書は民商事務所にあります。

無料法律相談(要事前予約)

2月18日(木) 昼1時 民商会館
北大阪総合法律事務所の弁護士が相談に応じます。

申告書作成の班会・支部集会のご案内は別紙をご覧ください。

商工新聞は経営のヒント・ノウハウの知恵がいっぱい 毎週必ず届けます
会費集金は会員の心をあじめる活動です 毎月10日までには集めましょう